

第1学年 社会

学習教材および学習の進め方

使用教材	中学生の地理（帝国書院） 新しい社会 歴史（東京書籍） 中学校社会科地図(帝国書院) 社会の自主学習 地理1（新学社） 積み上げ 地理1(明治図書) 社会の自主学習 歴史1（新学社） 積み上げ 歴史1(明治図書)	持ち物	【地理】教科書・地図帳 ファイル・ワーク 【歴史】教科書・ワーク ファイル
学習の進め方	<p><確かな学力を身につけるには></p> <p>社会は憶える事柄が非常に多くあります。もちろんその知識も大切ですが、用語を暗記するだけでは社会の力はつきません。社会科で大切なのはつながりを考えることです。そのつながりを考える土台として知識が必要になります。最近の入試では資料を読み取ったり、「なぜ」を問うような記述問題が多く出題されます。なによりも暗記だけの勉強では面白くありません。同じ憶えるにしてもつながりがわかり、「なぜか」を理解したほうが憶えやすいし、興味も湧いてきます。「なぜか」と思ったときは、先生に聞いたり、感想ノートにその疑問を書いたりしましょう。わからないものはそのままにせず、その日のうちにわかるように努めよう。</p> <p><家庭学習（地理）></p> <p>地理でもっとも大事なものは地図です。地理を勉強するときは必ず地図帳を横においてください。わからない地名や国名が出てくれば必ず地図帳で調べます。地理でも授業の進度に合わせてノートに自主学習を進めていきます。はじめは、授業の内容や重要な事柄を説明できるようにまとめましょう。最も重要な事柄だけを抜き出したり、箇条書きでまとめなおしたりと自分なりに工夫をしていきます。そしてノートにはできるだけ自分で簡単な地図を書くようにしましょう。</p> <p><家庭学習（歴史）></p> <p>歴史では、時代ごとに一番重要なことを抜き出してまとめます。そのときにできるだけ少ない事柄だけにします。その時代がどうやって始まり、どう終わったのか。重要な出来事は何か。プリントを使って学習していきます。</p> <p>予習では教科書を読んで次の時間の内容のページを読み、重要な言葉などをノートに書きだしましょう。5分でも10分でも読むことで授業での理解度の違いが大きく出ます。次に授業プリントにある復習問題（ワーク）を授業があったその日に解きましょう。わからない問題があった場合は教科書や授業プリントを見て解いて、次に解くときは全問正解できるようにしましょう。</p>		
学習上の注意	<p>予習より復習をメインに家庭学習を行いましょ。社会科の授業は週に3回あります。1週間の中で、社会科の勉強をする日を設定し、自主学習ノートを書いたり、ワークを何度も解いたりするようにしましょう。</p> <p>授業では積極的に参加し、友達の発表も参考にして、また自分も積極的に発表しましょう。学び合いの授業をすすめていくので、ペアやグループで意見を交わしたり、相談したりする場面が多くなります。積極的に話し合いに参加し、友達の意見を参考にすることで、さらに自分自身の社会的思考力を深めていきましょう。</p>		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	地理的分野 1部1章 世界のすがた	中 間
	5	1部2章 日本のすがた	
	6	2部1章 人々の生活と環境	
	7	2部2章 世界の諸地域 ①アジア州	期 末
二 学 期	9	②ヨーロッパ州	中 間
	10	③アフリカ州	
	11	④北アメリカ州 ⑤南アメリカ州 ⑥オセアニア州	
	12	歴史的分野 1章 歴史のとらえ方 2章 古代までの日本 ①世界の古代文明と宗教 のおこり ②日本列島の誕生と大陸 との交流	期 末
三 学 期	1	③古代国家のあゆみと 東アジア世界	学 年 末
	2	3章 中世の日本 ①武士の台頭と鎌倉幕府	
	3	②ユーラシアの動きと武 士の政治の展開	

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	地理的・歴史的事象の意義や特色，相互の関連を理解し，その知識を身に付けている。	定期テスト ワーク 自主学習ノート
	地理的・歴史的事象から課題を見だし，社会的事象の意義や特色，相互の関連を多面的・多角的に考察し，社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。 地理的・歴史的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	定期テスト 発表内容 自主学習ノート
思考・判断・表現	地理的・歴史的事象に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする	ワーク 発表内容 プレゼン レポート 自主学習ノート
主体的に学習に取り組む態度		

第2学年 社会

学習教材および学習の進め方

使用教材	中学生の地理（帝国書院） 新しい社会 歴史（東京書籍） 中学校社会科地図(帝国書院) 社会の自主学習 地理2（新学社） 社会の自主学習 歴史2・3（新学社）	持ち物	【地理】教科書・地図帳 ワーク 【歴史】教科書・ワーク
学習の進め方	<p>＜確かな学力を身につけるには＞</p> <p>社会は憶える事柄が非常に多くあります。もちろんその知識も大切ですが、用語を暗記するだけでは社会の力はつきません。社会科で大切なのはつながりを考えることです。そのつながりを考える土台として知識が必要になります。最近の入試では資料を読み取ったり、「なぜ」を問うような記述問題が多く出題されます。なによりも暗記だけの勉強では面白くありません。同じ憶えるにしてもつながりがわかり、「なぜか」を理解したほうが憶えやすいし、興味も湧いてきます。「なぜか」と思ったときは、先生に聞いたり、ふりかえりにその疑問を書いたりしましょう。わからないものはそのままにせず、その日のうちにわかるように努めましょう。</p> <p>＜家庭学習（地理）＞</p> <p>地理でもっとも大事なものは地図です。地理を勉強するときは必ず地図帳を横においてください。わからない地名や国名が出てくれば必ず地図帳で調べます。また、授業があった日には、教科書やプリント、資料を見直し自身でまとめなおしたり、該当部分のワークを解くなどして知識を定着させましょう。</p> <p>＜家庭学習（歴史）＞</p> <p>歴史では、その時代がどうやって始まり、どう終わったのか？重要な出来事は何か？を考えながら学習することが大切です。授業があった日には、教科書やプリント、資料を見直し自身でまとめ直したり、該当部分のワークを解くなどして知識を定着させましょう。</p> <p>予習では教科書を読んで次の時間の内容のページを読み、重要な言葉などをノートに書きだしましょう。5分でも10分でも読むことで授業での理解度の違いが大きく出ます。</p>		
学習上の注意	<p>予習より復習をメインに家庭学習を行いましょう。社会科の授業は週に3回あります。1週間の中で、社会科の勉強をする日を設定し、自身で授業の内容をまとめたり、ワークを何度も解いたりしましょう。</p> <p>授業では積極的に参加し、友達の発表も参考にして、また自分も積極的に発表しましょう。学び合いの授業をすすめていくので、ペアやグループで意見を交わしたり、相談したりする場面が多くなります。積極的に話し合いに参加し、友達の意見を参考にすることで、さらに自分自身の社会的思考力を深めていきましょう。</p>		

学習内容および評価規準

学習計画				評価にあたって		
	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
一 学 期	4	地理的分野 第3部 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色	中 間 期 末	知識・技能	地理的・歴史的事象の意義や特色，相互の関連を理解し，その知識を身に付けている。	定期テスト ワーク ファイル 小テスト
	5	第3章 日本の諸地域 九州地方 中国・四国地方 近畿地方				
	6					
	7					
二 学 期	9	中部地方 関東地方	中 間 期 末	思考・判断・表現	地理的・歴史的事象から課題を見だし，社会的事象の意義や特色，相互の関連を多面的・多角的に考察し，社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。 地理的・歴史的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	定期テスト 発表内容 ファイル パフォーマンス課題
	10	東北地方 北海道地方 歴史的分野 3章 中世の日本 ②ユーラシアの動きと武士の政治の展開				
	11					
	12	第4章 近世の日本 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 江戸幕府の成立と対外政策の変化 産業の発達と幕府政治の推移				
三 学 期	1	第5章 開国と近代日本の歩み 欧米における近代化の進展	学 年 末	主体的に学習に取り組む態度	地理的・歴史的事象に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする	発表内容 ワーク パフォーマンス課題
	2	欧米の進出と日本の開国 明治維新				
	3	日清・日露戦争と近代産業				

第3学年 社会

学習教材および学習の進め方

<p>使用教材</p>	<p>新しい社会 公民（東京書籍） 新しい社会 歴史（東京書籍） 社会の自主学习 歴史23（新学社） 社会の自主学习 公民（新学社）</p>	<p>持ち物</p>	<p>・教科書・資料集 ・ファイル・ワーク ・chromebook</p>
<p>学習の進め方</p>	<p><確かな学力を身につけるには> 社会科は、さまざまな分野の学習を行う教科です。もちろん知識も大切ですが、用語を暗記するだけでは社会科の力はつきません。社会科で大切なことは、つながりを考えるということです。そのつながりを考える土台として、知識が必要になります。最近の入試では、「なぜ」を問うような記述問題も多く出題されます。なによりも暗記だけの勉強では面白くありません。つながりがわかり、「なぜか」を理解したほうが覚えやすく、興味も湧いてきます。「なぜか」と思ったときは、先生に聞いたり、資料集やクロームブックを使って調べてみたりしましょう。わからないものはそのままにせず、その日のうちにわかるように努めましょう。</p> <p><家庭学習（歴史）> 歴史では、時代ごとに一番重要なことを抜き出してまとめます。そのときにできるだけ少ない事柄だけにします。その時代がどうやって始まり、どう終わったのか。重要な出来事は何か、プリントを使って学習していきます。 授業があったその日にワークを解くことを心掛けましょう。わからない問題があった場合は教科書や授業プリントを見て解いて、次に解くときは全問正解できるようにしましょう。</p> <p><家庭学習（公民）> 公民では、基本的な社会のしくみについて学びます。学習を進めていく中で、現在の社会情勢と関係のある事柄も学ぶことがあります。日ごろからニュースを見ることで、時事問題について考えるきっかけにもなり、学びが深まります。 イラストや関係図を描くことで、分かりやすくなるでしょう。ワークも一週間に一度のペースで進め、わからない問題は教科書や授業プリントを見て解いて、次に解くときは全問正解できるようにしましょう。</p>		
<p>学習上の注意</p>	<p>予習より復習をメインに家庭学習を行いましょ。社会科の授業は週に4回あります。1週間の中で、社会科の勉強をする日を設定し、最初は学習ノート、次にワーク本誌を解くようにしましょう。 授業は積極的に参加し、ペアやグループで意見を交わしたり、相談したりする場面が多くなります。積極的に話し合いに参加し、友達の意見を参考にするここと、さらに自分自身の社会的思考力を深めていきましょう。分からないことはできる限り、その日のうちに解決していきましょう。</p>		

学習内容および評価規準

学習計画				
	月	単元計画		
一学期	4	歴史的分野 第5章 日清・日露戦争と近代産業 第6章 二度の世界大戦と日本	中間	
	5	第一次世界大戦と日本 大正デモクラシーの時代		
	6	世界恐慌と日本の中国侵略 第二次世界大戦と日本		
	二学期	7	第7章 現代の日本と世界 戦後日本の出発 冷戦と日本の発展 新たな時代の日本と世界 公民的分野 第1章 現代社会と私たち 現代社会の特色と私たち 私たちの生活と文化 現代社会の見方や考え方	期末
		9	第2章 個人の尊重と日本国憲法 人権と日本国憲法 人権と共生社会 これからの人権保障	
		10	第3章 現代の民主政治と社会 現代の民主政治 国の政治の仕組み 地方自治と私たち	
		11	第4章 私たちの暮らしと経済 消費生活と市場経済 生産と労働	
三学期	12	市場経済の仕組みと金融 財政と国民の福祉 これからの経済と社会 第5章 地球社会と私たち 国際社会の仕組み	期末	
	1	さまざまな国際問題 これからの地球社会と日本		
	1	3年間の復習		学年末

評価にあたって		
評価の観点	評価の方法	
知識・技能	歴史的事象の意義や特色，相互の関連を理解し，その知識を身に付けている。	定期テスト ワーク ファイル 小テスト
思考・判断・表現	地理的・歴史的事象から課題を見だし，社会的事象の意義や特色，相互の関連を多面的・多角的に考察し，社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	定期テスト 発表内容 ファイル パフォーマンス課題
	地理的・歴史的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	
主体的に学習に取り組む態度	地理的・歴史的事象に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする。	発表内容 ワーク パフォーマンス課題